

# 市役所庁舎建設に関する調査特別委員会報告書

平成29年3月1日

備前市議会議長 鵜 川 晃 匠 殿

委員長 田 原 隆 雄

平成29年3月1日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
現庁舎建てかえに関する調査研究	継続審査	—



## 市役所庁舎建設に関する調査特別委員会記録

招集日時	平成29年3月1日（水）		本会議散会后	
開議・閉議	午前11時00分	開会　～	午前11時36分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中の開催		
出席委員	委員長	田原隆雄	副委員長	石原和人
	委員	山本恒道		尾川直行
		橋本逸夫		田口健作
		津島　誠		掛谷　繁
		守井秀龍		川崎輝通
		立川　茂		西上徳一
		山本　成		森本洋子
		星野和也		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	総合政策部長	佐藤行弘	庁舎移転担当官	尾野田瑞穂
	庁舎移転担当官	平田惣己治		
傍聴者	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

## 午前11時00分 開会

○田原委員長 本会議に引き続いてお疲れさまです。

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから市役所庁舎建設に関する調査特別委員会を開会したいと思います。

きょうは執行部のほうから追加説明をいただき、その後皆さんからの質疑をお受けしたいと思っておりますので、まず執行部からの資料説明、前回にいただいているものもあわせてひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官 新庁舎の整備事業について何点か、御報告をさせていただきます。

まず、基本設計の経過についてでございます。

昨年の11月18日に公示をして以来、公募型プロポーザル方式ということで設計者の選定手続を進めてきていましたが、昨年12月5日に申し込みを締め切り、12月7日に1次審査を行っています。参加者は2者でした。

続いて、本年1月26日に2次審査を行い、参加者から提出された技術提案書を8名の選定委員により厳正に審査した結果、山下設計・丸川建築設計共同企業体が最優秀者に選ばれています。この結果を受け、2月3日には山下・丸川共同企業体と契約を締結しています。契約期間が2月3日から6月30日まで、契約金額が3,996万円です。契約後協議を重ね、まずは基本計画の作業を進めてもらっているところです。今後3月にはこの基本計画の素案ができる予定ですので、でき次第これはまたお示ししたいと考えています。

それから、6月には基本設計の案ができる予定ですので、これもでき次第お示ししたいと考えています。

それから、実施設計についてですが、12月補正で予算をいただいております、引き続き山下・丸川共同企業体に随契する予定で今準備を進めているところです。3月中には契約ができるのではないかと考えています。

それから、プロポーザル2次審査の際に山下・丸川共同企業体から提出された技術提案書については、先にお配りをして見ていただいておりますので、これについての御意見等あれば頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

続いて、今後の予定についてですが、平成29年度当初予算にまずは骨格予算ということで旅費、需用費等の事務経費というものをお願ひしています。

これに合わせ財産管理費の工事請負費を計上させていただいているものがございまして、この工事請負費が何かと言いますと、昨年末に新庁舎の用地として買収した市役所北側の三村製帽跡地を仮駐車場として整備するものです。この用地、実際に新庁舎の事業で整備するのは、事業の末期、平成31年度の後半ぐらいになる予定であることから、それまでの間、お客様ないしは公用車の駐車場として有効利用するために暫定的に整備したいということで考えているものです。

それから、肉づけ予算として、これはあくまで現段階の予定ということですが、新庁舎建設に伴い、まず現庁舎の一部を解体する工事を来年1月ごろに今の予定では着手することになるであろうと考えており、これに先立ち解体する部分の部署をほかの現庁舎のあいたスペースへ移転しておく必要があり、これに伴う改修工事を9月ごろから着手する予定ということになっていることから、この移転費用と改修工事費を肉づけ予算で計上させていただき予定でいます。

続いて、市民の皆さんからの意見聴取の状況について少し御報告をさせていただきます。

まず、ワークショップについてですが、去る2月10日に1回目を開催しています。30名の御参加をいただき、6名ずつ5グループに分かれて意見交換をしていただいています。終始和やかな雰囲気の中で非常にいい御意見を次々といただくことができました。この内容については、まとめたものをお手元にお配りしていると思います。市民ワークショップ通信という名称で、これはホームページへも掲示をしています。

また、ひなビジョンでも当日の会議の様相を収録していただいております、これもまた市のホームページで動画を閲覧することが可能になっているので、ごらんいただけたらと思います。

ワークショップ、今後については3月に2回目を、5月に3回目を行う予定としています。

次に、意見聴取会についてですが、旧アルファビゼンへの移転計画の際に開催したのと同じ会議を今回も開催したいと考えて調整をしていたが、諸事情で会議の開催は困難ということで判断して、各委員に個別に意見聴取をして回らせていただいています。現在、ほぼ8割方ぐらいの委員に協議済みということで、残りの方についても引き続き進めさせていただきたいと考えています。

次に、若い人から御意見をいただくべきといったような御指摘がございましたことから、市内の中学校、高校に御協力をいただいて意見聴取を進めています。2月中には市内の中学校5校全部を意見聴取して回ったところです。人選は学校側にお任せしたところが生徒会の役員中心ということで、数名から十数名での意見聴取ということになっています。事前にこちらから技術提案書とか市でつくっている基本構想などの資料をお渡ししておいて、またテーマもある程度こちらで絞ったものを投げかけさせていただいて、若干事前に準備しておいていただいた上でそれぞれ学校ごとに1校ずつ出向いて行って御意見を聴取して回っています。こちらでも非常にいい御意見を次々いただいています。

それから、緑陽高校については、この3月の中旬に実施する予定にしています。

続いて、庁内プロジェクトチームでの検討についても鋭意進めています。7つチームを立ち上げていますが、これら全てについて1月から会議を始めており、それぞれ1回から2回ずつ会議を行っているところです。担当者レベルでも会議以外にも随時協議を進めており、これもまた引き続き進めていきたいと考えています。

こういったようなことで、市民の皆さんからいただいた御意見とか庁内での検討結果といったものを共同企業体と協議調整しながら実現可能なものを設計に反映させていくといった予定で今

進めているところです。

○**田原委員長** ただいま担当官から説明をいただきました。

委員の皆さんからの質疑をお受けしたいと思います。

○**掛谷委員** 2点ほどお願いします。

1点は市民のワークショップ、それから意見聴取会に来た方々が参加しての意見聴取会ができないということで個別にいつているとか、中学校また高校でもいろんな意見をお聞きするという事で、それは大変結構だと思います。庁内プロジェクトもそうだし、御意見をいただくということ盛んにやられて結構ですが、一つにはどの辺までのことがそれへ反映できるのかなど。御意見をお聞きしておきましたということなのか、実現可能なものは入れていきたいという答弁ですが、例えば一例があるのはヘリポートを屋上にという話が結構ある。そうすると太陽光発電を上にするものを変更しなくてはならないし、ヘリポートを使うとすれば施設はしてもその運営管理は大変だというようなことがあって現実的にできるのかできないのかという、そういうものを回答しなければならないというか、本当に検討してそういうものはできませんよと、できないのはこうこう理由ですよというようなことがあると思ったりもするわけです。

もう一つの例は、職員の皆さんが食堂みたいなものをつくったりしてやりましょうというのがなくなっていますね、この構想の中には、たしか。はっきりとはよくわからないが。元言っていたようなものが外れたものもあるのではないかと、最初のところです。いつまでにそういうものが、期限としては入り込めるのか、難しい案件についてはどうなのかというのを、食堂のこともあるが、そういった意見をどのように扱ってこれからいこうとされているのか教えてください。

○**平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** いただいた御意見をどうまとめて反映させていくのか、これからの課題だと思います。いただく以上は可能な限りできるだけものを反映したいと考えていますが、やはり事業を進めていく上ではいろんな条件や制約がございます。技術的な事柄とか関係法令のこと、それから規模や事業費なども見境なしに大きくするわけにはいきませんから、いろんなそうした制約の中で共同企業体と協議をしながら、可能なものはできるだけ反映させていくということでこれから調整をしていくので、結果としてどういったものになるのか今の段階ではわかりませんが、一つの考え方として、多数意見といいますか同じ意見を多数の方からいただいているようなものというのはやはり少し優先して考えたいと思っていますので、そのようなことで調整しながらこれから設計を進めたいと考えています。

ヘリポートというのも防災拠点として考えれば一つの要素だと思いますが、これもやはりヘリコプターを屋上にとめるとなると建物の強度等々を求められますから事業費も大きなものになると思いますし、おっしゃられましたように維持管理費の問題もありますから果たして可能かどうか、現実には少し難しいというふうには思いますが、今の段階で結論づけるものではないかというふうには思います。

それから、食堂がなくなったのではないかと御指摘ですが、これは多分お配りしている提

案書の中にないということではあると思いますが、今お配りしている提案書はあくまで共同企業体がプロポーザルの中で提案してきたものということで、一定の条件は示しているとはいいながら本当に細かい部分の条件は全て把握した上できっちりしたものを出しているわけではないので、むしろこの提案書でもって企業体の技術力を見きわめて、それによって契約相手を決めるという旨ですから、この提案がこれからベースになって、これをたたき台にして進んでいくとはいいながら、このとおりになるかどうかは今の段階ではわからないということで御理解をいただければと思います。食堂の件についても、実はいろいろ意見をいただいている中で結構たくさん出ていますので、何とかしたいという思いは持っていますが、そのあたりもこれから調整してどうなるかということだと思います。

時期についてですが、今の予定では基本設計6月末までというスケジュールで進んでいますから、その中である程度の計画が固まってしまうということになります。ですので、これから一月から二月うちわぐらいまでが一つのめどというふうには考えています。内容によってはある程度早く決めなければいけないこともあれば、ある程度設計の後半でも対応できるものもあるかもしれませんが、いただいている御意見についてはできるだけ早い時期にまとめたいと考えています。

**○尾川委員** 今経緯をずっと日にちごとに説明があったが、締め切りから2者応募で、もう一度確認の意味で。

それと、審査に当たってメンバーが決まっていたと思うが、そのメンバーをもう一度教えてもらいたい。

**○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** 流れについては先ほど御説明させていただいたとおりで、11月18日に申し込みの開始をして、12月5日にその申し込みを締め切ったということで、それまでに応募してきた業者といたしますか共同企業体が2者だけだったということです。締め切った後で12月7日に、まず1次審査ということで、これはペーパー上の審査になるが、企業体の過去の実績、庁舎関係の同種の実績をどれだけ持っているかといったようなこととか、技術者を何人、有資格者をどういう形で配置するかといったようなことと、その有資格者がまた過去にどういった実績を持っているかといったようなこと、そうしたことに点数をつけて審査するというものです。ただ、その1次審査で応募者がたくさんいた場合、5者程度に絞るといって、1次審査で5者程度にふるいにかけるという目的でいたわけですが、結果的に初めから2者しか応募者がいなかったということで、結果的には点数をつけただけということにはなっています。この2者でもって1月26日に2次審査ということでお配りをしておる技術提案書、これは選ばれたほう、最優秀者の山下・丸川のものですが、もう一者からも同じような提案書が出てきて、これを8名の選定委員でヒアリングを受けて審査して点数をつけたということです。

8名の選定委員といたしますのは、8名のうち3名が外部の有識者の方ということで、まず岡山県立大学の教授の方、国土交通省の岡山営繕事務所の方、県庁からは県の建築指導課の方、外部

の方3名と、あとは5名、市の職員です。副市長、市長室長、総合政策部長、まち整備課長と私の5名というメンバーでした。

○**星野委員** 基本設計のNo.4ですが、下のほうに図面が出ているが、議場が長期避難受け入れ場所に転換となっているが、大規模災害発生時に議会、議員は要らないということか。

○**平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** 業者の提案ですので、そういう発想でつくっているかどうかというのはわかりませんが、要は広いスペースですから緊急時の避難場所に活用できないかという考え方のもとに提案してくれているものだろうというふうに思っています。議員が要らないということではないと思います。

○**守井委員** これから各担当とヒアリングを行うことになっていくと思いますが、それぞれの担当課のところへでも時代に合った最新式の動線とかいろんな市民向けのサービスとか、そういうものを考慮して検討していただきたいということを各担当課にもお願いしておきたいと思えます。あわせて議会もそれと同じようなことで、次の時代に合わされたような議会づくりということを考えていってやらなければいけないということを特にお願いしておきたいと思えます。

○**平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** オフィスの機能としてということに合わせて、市民へのサービスの向上というのも新しい庁舎ができることに合わせてしっかり考えていきたいと思っています。実は検討のプロジェクトチームの中にもワンストップというものを検討するチームをつくっており、窓口サービスについても従来のものではなく総合窓口的なものをつくって、できるだけ迅速に簡単に対応ができるようなサービスというもの、例えばコンシェルジュのような案内役の配置といったことも含めて、できるだけサービスの向上に努められるように新しい庁舎で向上ができるようにということ今検討しているところです。

○**守井委員** あわせて今までここの庁舎で何十年と生活しているわけですが、その中で発生したいろんな遺物、歴史物とか記念物とかというものがどうしても発生していると思うので、例えば議場には優秀な作品が残っているものがあると思うので、そういうものも活用して次の時代につないでいく庁舎にしてほしいと、御検討いただきたいと思えます。

○**平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** おっしゃられるとおり一つの検討課題だと思えます。議場の中には備前焼、たしか人間国宝の方がつくられたものということで残っていますから、できるだけ活用したいというふうには考えています。

○**山本（恒）委員** さっき言ようたように、業者が主にこれからは主導権を持つてすると思うが、そうではなく、ある程度意見を聞いて、若い人ばかりでなく少しは年寄りの意見も聞いて、恥ずかしくないようなものをしなければ、なるべくこれぐらいなことはしなければふうが悪いというような、ばらばらになるんじやなしにさっき言ようたように御飯食べるとか、ちょっとでもみんなが寄るように、何ぼでもお金を出しさえすれば業者は何ぼでもするでしょうが、そうではなく自然に市民の人が寄ってくるような庁舎にぜひしてもらわなければいけないと思えます。

○**平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** ある程度技術的な部分については設計共同企業体



に頼らざるを得ない部分ではありますが、どういったものをつくるかということについて我々なりにしっかりした考え方を持って、御意見も反映できるような形で主導権を持ってしっかりと進めたいと考えています。

市民の皆さんが寄っていただけるような庁舎にするというのは一つの大きなテーマでして、特に近年新しいものを建てている庁舎ではそうした形で考えて建てられているといった傾向があり、単に行政機能の新しいものをつくるというだけでなく、できるだけ人の交流が生まれるような施設にしたいと考えていますので、そのあたりもしっかり考えていきたいと思えます。

**○川崎委員** 移転とかということを考えて費用を抑えたという点で、いいことと思っています。ただ、6階建てで機能が全部いくのかどうか、いかなければそれは7階にでもして職員のための食堂とか、1階ロビーなんかでもできれば今ごろは本当に図書館でもロビーというかゆっくりできて、瀬戸内市でもちょっとしたロビー的なもので、単に図書館というのではなく飲食も可能と。それから、すごい自習室が図書館はあるわけですが、こういう市役所も市民がゆっくりくつろげて、実務の何か書類だけ済ませたらすぐ帰るといった雰囲気ではなく、職員と市民が会話できる空間づくりというのも21世紀の将来を考えると市民協働とかなんとかというのがスローガンではなく現実に日常的になされることが必要と思うので、特に1階はそういうものを重点に置いていただきたいということと、屋上ですが、私一貫して平らに全て、6階に議場があって屋上に議場のところだけ屋根が高くなるのではなく、全部同じ高さにしてオール太陽光ができれば、20キロワットではなく40キロワットも50キロワットも発電できれば、そういうものを1階の市民のロビーにテレビというか何かで、今何ぼ発電しているとかというようなことも21世紀の長期を踏まえると、再生エネルギーの重要性というのを日常的に接していただくということが非常に大事だという点で、そういう設計変更を少しお金がかかっても、それは太陽光の発電によって十分に屋上をフラットにして、その上に太陽光を乗すことによってその経費というのは、増額分はプラスになると考えているので、そういうこともぜひ。たしかあったでしょう、何か自立したエネルギーというか何かそういうスローガンがどっかあったと思うので、ぜひ最先端の未来志向型の庁舎にしてほしいということをお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

**○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** 省エネはもうどちらかといえばきょうび必須でございますから、どこまでエネルギーを削減できるかということでもしっかり考えていきたいと思っています。

以前にも御説明したように記憶しておりますが、今経済産業省や環境省でもそうした取り組みについては補助金が出る制度がございますから、ぜひ省エネについてはしっかりしたものをつかって、できれば補助金を充てるような形で進めたいと考えています。

それから、市民の皆さんがくつろげるという部分についても、さっきも申し上げたようにいろいろ御意見をいただく中で、特にたくさん御意見としていただいている部分ですから、本当に単に会議とか仕事で来るだけでなく、その前後で打ち合わせをしたり相談をしたり、ちょっとお茶

を飲みながらお話ができるといったようなスペースとか、学生からお聞きしますと、勉強ができるスペースをつくってほしいといったような御意見もたくさんございましたので、そういったことで市民の皆さんが交流できるような、使えるような施設と、スペースというのはぜひ何とか取り入れていきたいと考えています。

**○掛谷委員** 駐車場の件です。No.3、3ページには左下に1階の地図が出ています。北側の買収するところですが、30台とメーンのところの68台、約100台です。今考えてみると余計なものが入っていないければ、たしか80台ぐらい入る、70か80台、前言よした。ほんのわずかしかふえていない。意外とふえてない、この案は。百二、三十台ぐらいはというイメージを僕は持っていたが、これだと思いやり駐車場、これは障害者の方等あると思うが、結局この案だと何台ですか。

例えば車庫、倉庫棟というのが何か新しくありますが、駐輪場が100台こっちにあるが、100台も駐輪場は要らない。だったら、こっちへ出入り口をつけて車庫、倉庫をこっちにして駐車場をこっちにすればとれるのではないかと。小さいことを言えば切りがないが、要は駐車場をできるだけとってもらうようなことを考えていただくことを、これは当然そう思います。いかがですか。

**○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** お客様用の駐車場はできるだけ数を多く確保できればそれにこしたことはないというふうには思っていますので、御意見を踏まえ検討したいと思えます。

実際庁舎の配置によって駐車場の確保台数なども決まってくるわけですが、とりあえずここでプロポーザルをするのに、業者に対して出した条件は大体100台をめぐりということはこちらの条件提示をしておりましたから、こういう提案を業者もしてきているということで、もっと台数を確保するということになれば、周辺で用地を確保するか、あるいは立体にするか、そういったことも可能でございますし、そのあたりはこれからまた検討したいと思えます。

**○掛谷委員** 余り言いたくないが、駐輪場が100台も要りますか。こんなに要らない、これは。余り小さいことだから言いたくはないが、駐車場を確保してください。それだけです。

**○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官** 駐輪場100台が多いのかどうかというのはあろうかと思いますが、あくまで出てきているのは、さっきも申し上げたように提案ですから、まだまだこれから設計を練っていくということになるので、その中でしっかり考えたいと思えます。

**○川崎委員** 駐車場の問題で言えば、私はぜひ立体が必要だと考えています。というのは、冬に緊急に災害か何かあると霜がついて、それを落としながら行くというのはよくないので、立体にすれば1階に緊急車両を置いておけば、屋根つきならそうなるわけですが。

例えばこの北の分庁舎の30台、これ3階建てにしたら90台置けるわけでしょう。それから、右側のところの今ある20台、30台ぐらいの公用駐車場、そういうところもぜひ自走式にしたら少し減るでしょうが、維持管理費を考えるとほとんど今岡山市内なんか自走式がふえて

います。そういう方向で、それでも足りなければ68台を2階建てにすれば、すぐ130台ほど置けるとかそういうことが可能なので、将来そういうことを見据えた駐車場構想もぜひお願いしたいと思いますけど、いかがでしょうか。

○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官 御意見ありがとうございます。

参考にさせていただきまして、そうしたことも含めて検討したいと思います。

○田口委員 今駐車場の話が出たが、頭島の駐車場をつくったときに業者をうのみにして、本当にとめられない駐車場の図面を書かれて、それを実行しようとして川崎委員に指摘されて、1.5倍ぐらいとめられるようにすぐ変わったと。またあなた方多分全てに業者、時間と人数の関係でその業者をうのみにしなければならぬというようなことが起きるわけでしょうが、そういうことのないようにぜひしてほしいと思う、駐車場に限らず。ああ、ええなあ、ええなあというて、よく考えたらもう30台とめられるんだったのにとかということのないようにしていただきたいと思いますが、この件については部長いかがですか。

○佐藤総合政策部長 先ほども委員から御指摘がありましたように、業者の提案は提案としてそれをしっかり受けとめて、市側としてもそれをよく審査して、よりよいものにしていくということが基本となると思いますので、そのようにさせていただきたいと思います。

○星野委員 基本設計のNo.3のところにある親しみを感じる庁舎づくりという中に備前焼のタイルや県産木材を使ってとあるが、こういう備前焼のタイルを使う際に陶友会に丸投げするのではなく、市民、特に子供たちが親しみを持てるような庁舎にするために、お隣の瀬戸内市の図書館、市民の手づくりで3,200枚のタイルを壁面に張っていると思うが、そういうやり方も検討していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官 ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。

○石原副委員長 ワークショップ御苦労さまです。

先ほど2回目、3回目のあらかじめの予定等をおっしゃいましたが、2回目が3月とお聞きしたが、3月の2回目についてはもう予定も決まっているのか。

○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官 やはり設計の作業の進み方を見きわめながらということですので、今のところまだ日程を決めていません。そのあたりもう少し設計の進捗を見きわめた上で日程調整をさせていただいて、できるだけ早目に決めたいとは思っていますので、いましばらくお待ちいただきたいと思います。

○石原副委員長 1回目、約30名の方においでいただいたということですが、2回目、3回目についてはお集まりいただくメンバーの方とか、開催の場所もまた違った形での開催を想定されているのでしょうか。

○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官 参加者の方については、1回目と同じメンバーの方に3回出ていただくということをお願いをしています。会場も調整がつけば、同じようにこの

庁舎の3階大会議室で行いたいと考えています。

○石原副委員長 ほぼ同様のメンバーということですが、日程が決まれば何らかの形で新たな方に対してもワークショップをしますということで募集はかけるのでしょうか。

○平田施設建設・再編課長兼庁舎建設担当官 2回目以降、新たな方の参加というのは想定していません。

○田原委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、閉会してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

以上で委員会を閉会します。

御苦労さまでした。

午前11時36分 閉会